

## 埼玉工場における廃熱発電設備の稼働について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文）は、セメント製造工程における廃熱を活用した廃熱発電設備を埼玉工場（埼玉県日高市）に新設し、2022年10月24日稼働を開始いたしました。

本設備はセメント製造工程で発生する廃熱を活用したもので、導入により年間約23,000トンのCO<sub>2</sub>削減が可能になります。

当社では、セメントの製造工程の特徴を活用した廃熱発電設備の導入を進めています。今回の埼玉工場への導入をもって全工場への設置が完了しました。これにより、全工場での総消費電力量に対する廃熱発電量の割合は19.7%（2021年度比3.0ポイント増）となる見込みです。

なお、同工場では環境への配慮からCO<sub>2</sub>排出量の少ないガスエンジン発電設備を建設中であり、2023年秋からの運用開始を予定しています。現在、同工場では操業のための電力を全量購入しており、両発電設備の完成により安定的な操業と製造原価低減が見込まれます。

当社はセメント生産におけるCO<sub>2</sub>排出削減を重要な成長戦略と位置付けており、様々な施策によるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みと、さらなる省エネルギーの推進に取り組んでまいります。

### < 廃熱発電設備の概要 >

所在地	埼玉県日高市原宿721番地（埼玉工場内）
発電出力	7,850kW
年間発電電力量	約53,000MWh 年間約23,000トンのCO <sub>2</sub> 排出削減に貢献する

< 本件に関するお問い合わせ先 >  
太平洋セメント株式会社総務部 I R 広報グループ  
TEL 03-5801-0334  
FAX 03-5801-0344  
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp